平成31年度 知能情報工学実験演習2

離散構造モデリング

第2回演習資料

坂本比呂志 平田耕一 芳野拓也 情報工学部 知能情報工学科

前回のプログラムの問題点: RUNの長さに強く依存する

run-length圧縮:

同一文字の連続(run)をその長さ(length)で置き換える圧縮法

AAAAAAAAAABBBBB → A9B5 AAAAAAAABBBBBCCCCCC → A9B5C6

入力にrunが含まれないときは圧縮できない(それどころかデータサイズが増加してしまう)

ABCDABCD → A1B1C1D1A1B1C1D1

汎用的なrun-length圧縮:長いrunがないデータでもうまく圧縮したい

4. 文字列のソート

整数のソート

(例)バブルソート

- •array[N]に格納された整数をソートする
- •k++しながら array[k+1]<array[k] ならば両者を入れ替える
- ・このループが終了するとarray[N]に最大値が入っている
- •以上の手続きをarray[N-1]に対して同様に繰り返す

バブルソートのサンプルプログラム

```
void BubbleSort(int Data[], int n){
  int i, j, tmp;
  for(i = 0; i < n - 1; i++)
    for(j = n - 1; j > i; j--){
      if(Data[j-1] > Data[j]){
         tmp = Data[j-1];
         Data[j-1] = Data[j];
         Data[j] = tmp;
      }
  }
}
```

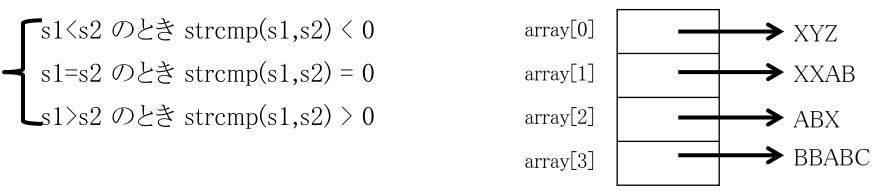
文字列のソート

文字列のソート = 整数型ポインタ配列のソート

- 整数配列array[]の各要素array[k]がk番目の文字列へのポインタを表していると考える
- ・整数のソートでは array[k] と array[k+1] の大小比較を行ったのに対して文字列のソートでは

array[k] が指す文字列s1とarray[k+1]が指すs2を比較する

- ・文字列の大小は長さではなくアルファベットで比較 ABBB < XY
- •文字列の大小比較はstrcmp(s1, s2)

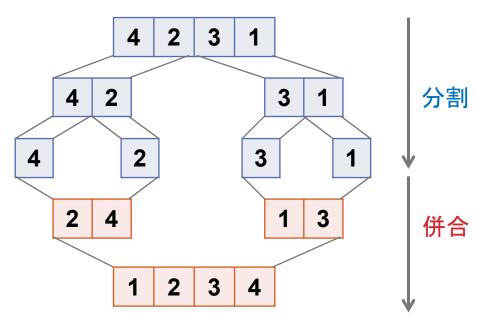


高速なソートアルゴリズム マージソート

- 整数配列を2分割する:
- •arrayが分割できない(要素がひとつ)ならば何もせずリターン
- ・要素が2つならその大小を比較して必要なら入れ替える

・要素が3つ以上ならそれをさらに二つに分割して再帰的に以上を繰り

返す



マージソートのサンプルプログラム

```
void Msort(int Data[], int temp[], int left, int right)
{
    int mid, i, j, k;

    if(left >= right)
    return;

mid = (left + right)/2;
    Msort(Data,temp,left,mid);
    Msort(Data,temp,mid+1,right);
```

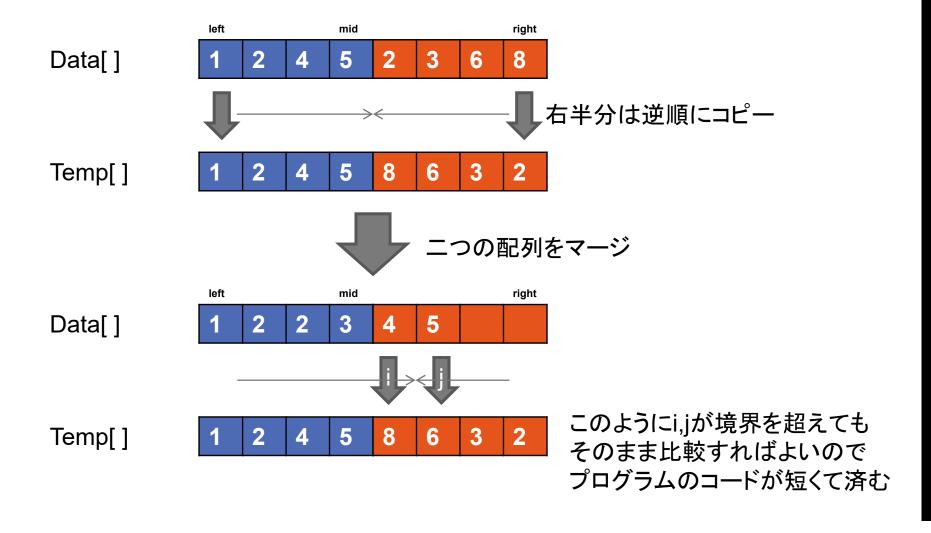
```
for(I = left; I <= right; i++)
     temp[i] = Data[i];
     i = left;
    j = mid + 1;
    k = left;
     while(i <= mid || j <= right){
         f(j > right || (i \le mid \&\& temp[i] \le temp[j])){
            Data[k] = temp[i];
            j++;
         }else{
            Data[k] = temp[j];
             j++;
          k++;
```

マージソートのサンプルプログラム VER.2

```
for (i = left; i \le mid; i++)
   temp[i] = Data[i];
for (i = mid + 1, j = right; i <= right; i++, j--)
   temp[i] = Data[i];
i = left;
j = right;
for (k = left; k \le right; k++)
   if (temp[i] <= temp[j]){</pre>
   Data[k] = temp[i];
      j++:
    }else{
       Data[k] = temp[j];
      j--;
```

このjが減少していることに注意

jが減少していることの意味



課題3

入力ファイル(Test3.txt)の文字列をソートして出力ファイルに書きだす プログラムを作成せよ. ソートアルゴリズムはバブルソートでよい. なお、mysortの引数は適当に変更してもよい.

課題3の提出方法

提出するもの

- Makefile
- ·func.h
- ·main.c
- -check.c
- •mysort.c
- •Test3.txt(オリジナルデータ)
- Test3_sorted.txt(Test3.txtをソートしたファイル)

これらをフォルダ"kadai3_学籍番号"にまとめて、ZIPで圧縮

(アドレス) experiment@donald.ai.kyutech.ac.jp (件名) kadai3_学籍番号

課題4

課題3の内容をマージソートによって実現しTest4.txtをソートせよ.

- ※課題3の内容を保存して作成せよ.
- ※課題4を提出すれば、課題3を提出する必要はないものとする.

課題4の提出方法

提出するもの

- Makefile
- ·func.h
- ·main.c
- -check.c
- •mysort.c
- •Test4.txt(オリジナルデータ)
- Test4_sorted.txt(Test4.txtをソートしたファイル)

これらをフォルダ"kadai4_学籍番号"にまとめて、ZIPで圧縮

(アドレス) experiment@donald.ai.kyutech.ac.jp (件名) kadai4_学籍番号